

平成 26 年度工業標準化事業表彰 経済産業大臣表彰の受賞について

経済産業省が行う工業標準化事業表彰は、毎年 10 月に行われる工業標準化推進月間に、国際標準化機構 (ISO) や国際電気標準会議 (IEC) において国際標準策定や国内規格 (JIS) 策定など標準化活動で優れた功績を残した人材・団体を対象とするもので、「内閣総理大臣表彰」や「経済産業大臣表彰」などがあります。平成 26 年度は、「内閣総理大臣表彰」は 1 人、「経済産業大臣表彰」は個人が 20 人、団体が 3 団体となっています。

JEITA 関係では、経済産業省より、JEITA が国内審議団体を委託されております IEC/TC100 (AV・マルチメディア、システム及び機器) 国内委員会から、これまでの規格化の取組みを評価され、次の方々が経済産業大臣表彰を受けられました。誠にありがとうございます。



※経済大臣表彰者・記念写真

受賞者

- ・松村秀一(富士通株式会社、法務・コンプライアンス・知的財産本部 知的財産・スタンダード戦略統括部 シニアスタンダードエキスパート)



IEC/TC100(オーディオ・ビデオ・マルチメディアシステム及び機器)/TA8(マルチメディアホームサーバシステム)及び14(パーソナルコンピュータのインターフェースと測定方法)のTAM(テクニカルエリアマネージャ)を務め、多くの日本提案を含む国際標準化を牽引。TC100国内委員会幹事として国内意見集約、多くの規格開発、更に普及に貢献。また、人材養成を重要課題ととらえ「次世代人材育成プログラム」を提唱し、業界の標準化人材の発掘、養成に貢献。

- ・杉浦博明(三菱電機株式会社 デザイン研究所所長)



IEC/TC100(オーディオ・ビデオ・マルチメディアシステム及び機器)/TA2(色彩測定及びカラーマネジメント)のTAM(テクニカルエリアマネージャ)を務め、当該エリアの国際標準化を牽引。特に、ディスプレイモニタ、プロジェクタ、デジタルカメラ、プリンタ等多くの製品に現在も採用されているsRGB(IEC61966-2-1標準色空間の規格:異なる環境・機器間での色再現性を確保)の策定では、日本からエキスパートとして参画して我が国のAV機器メーカーの意見反映に貢献。

TC 100 概要

IEC/TC 100 (AV・マルチメディア、システム及び機器) : 1995年10月に設立
2004年1月より日本が幹事国を務めており、現在、国際幹事:江崎(ソニー)、国際副幹事:長谷部(東芝)、井口(パナソニック)、Pメンバー(投票権を持つ国):23カ国、Oメンバー(オブザーバーの国):21カ国、傘下に13のTA(Technical Area)がある。なお、TC100の受託審議団体はJEITAであり、TC100国内委員会を運営している。